



中 箴 博之 議員

飛騨高山国際芸術祭 でまちを元気に！

高山の芸術文化の振興

【問】芸術祭について市長の思いは。

【答】守るべき伝統と新たな創造力を世界に発信することで高山の魅力を高めたい。

【問】進捗状況は。

【答】平成25年度開催に向けて、市民に根づいた高山らしいイベントとするため、諸団体から意見を聞き、現在最終的な骨子案をまとめている。

【問】芸術文化振興指針の策定は。

【答】今後の芸術文化振興施策の方向性を定める指針として策定中で、その象徴的なイベントとして芸術祭を位置づけたい。

【問】飛騨高山国際芸術祭のコンセプトは。



庄川の里芸術祭

【答】市民一人ひとりが主役となり誰もが参加・行動し、高山らしい文化を創造・発信する芸術祭としたい。

【問】今後の予定は。

【答】早い時期に内容を示し、市民参加の実行委員会を組織して、24年度はプレイベントを開催したい。

【問】市長公約「芸術振興に総予算枠の1%確保」はどうか。

【答】文化立国フランスの国家予算1%が手本で、芸術文化への投資が観光振興にもつながると考えている。

各種要望への対応

【問】町内要望への対応は。

【答】道路や水路の修繕など要望のあった482項目のうち284項目を実施した。

【問】必要度・優先順位づけの基準は明確か。

【答】現地確認の上、危険度や機能上の問題を勘案し優先順位をつけている。

【問】要望に対する回答方法に問題はないか。

【答】市民に分かるよう、見通しや経緯・理由を添えて誠意ある回答に心がけている。

【問】「検討する」という議会答弁の進捗管理はできているのか。

【答】担当部局で取り組んでおり、今後ホームページで公開したい。



岩 垣 和彦 議員

新年度に対する市の考えを問う！

国家公務員給与削減に伴う市の考えは

【問】震災の復興財源で国家公務員給与が7.8%削減となる。市の職員給与の影響は。

【答】現段階では、行政改革大綱により人件費総額の抑制を図る。人事院勧告に基づいた民間給与格差に着目した対応としていきたい。

【問】今後、市独自の職員給与体系を構築する考えはあるか。

【答】人事院制度や公務員の労働基本権が国で議論されている。動向によっては新しい仕組みの検討も必要。

【問】報酬審議会の答弁は「特別職の給与等は全て据え置き」で、付帯意見に「市長の海外出張時における同伴配

偶者の旅費の検討」がある。市長の考えは。

【答】国際慣習である配偶者の同伴は自分で判断。必要なら妻の旅費は自身で持つ考え。

新年度の景気対策への意気込みは

【問】新年度で、景気回復を重視した主要な施策や事業は何か。

【答】公共事業の推進やプレミアム商品券事業、低金利融資や利子補給、海外戦略に基づく誘客・販売・交流促進や飛騨高山展の積極的な実施など。新ブランドの開発と外貨獲得を積極的に進め、市内経済の活性化を図る。

【問】10億円規模のプレミアム商品券発行について、過去の問題点解

消と平等性を担保する対策は万全なのか。

【答】一部での大量購入などがあり、平等性に欠ける点もあった。これらを踏まえ、関係団体と検討や調整を行い、平等で効果的な制度設計に取り組む。

【問】市の経済対策と新産業創出に向け、複合的に検討する専門部署が必要と考えるが。

【答】経済対策は商工観光部、農業振興等は農政部、公共事業等は基盤整備部がそれぞれ責任を持って取り組んでいる。横断的な調整は企画・財政が担う。



前回のプレミアム商品券事業「夢とく商品券」